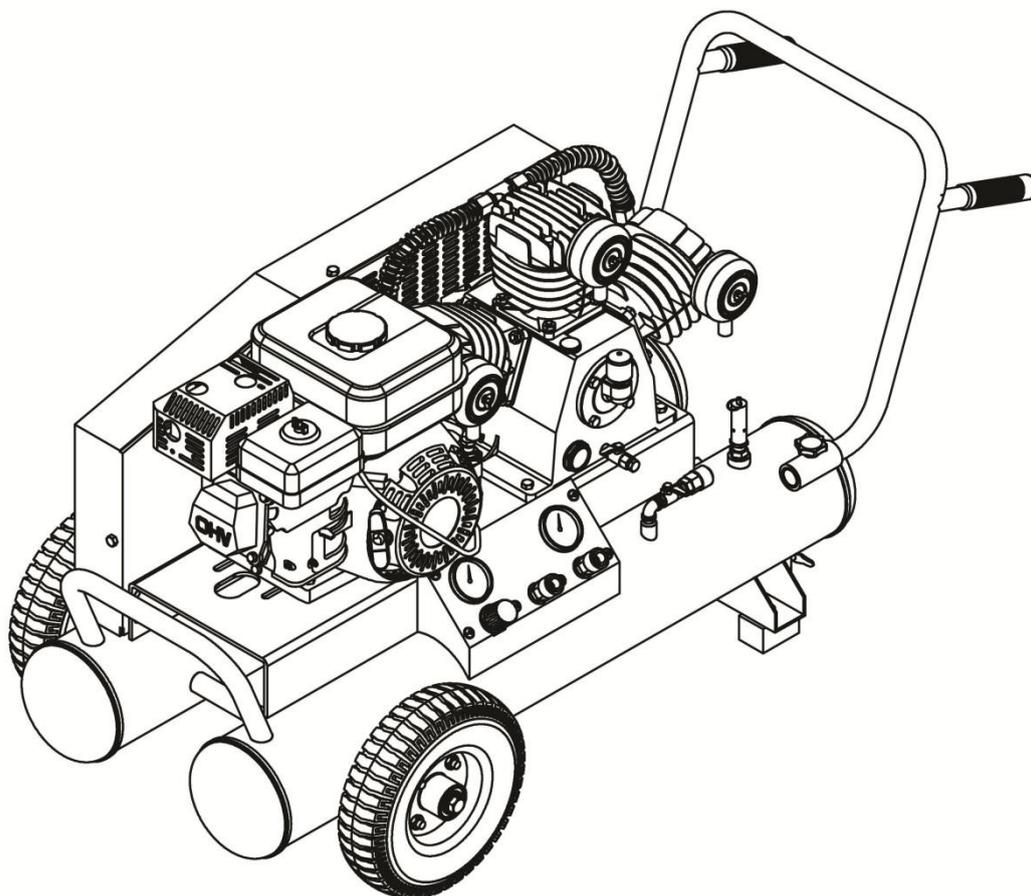


# Airwave

エンジン式  
エアークンプレッサー  
GM-32ESW

## 取扱説明書

この度は、弊社「**Airwave** エンジン式エアークンプレッサー GM-32ESW」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。尚、この取扱説明書は大切に保管して下さい。



株式会社 <sup>KAZ</sup> 和コーポレーション

この度は、(株)和コーポレーション製品をご購入頂き誠に有難うございます。

本書には製品の安全性に関する事項と正しい取り扱い方法、簡単な点検・整備・調整について説明してあります。重大な事故、故障にならない為に熟知されている方も本製品の独自の操作方法等がありますので、必ず最後までお読み頂き、安全にご使用下さいますようお願い申し上げます。

尚、本製品を他の方に譲渡される場合は、取扱説明書も同時に添付をお願い致します。

## 目次

・ 特長・付属品・仕様	・ P 2～3
・ 各部名称	・ P 3
・ 運転準備	・ P 4
・ 操作方法	・ P 4～5
・ 使用上の注意	・ P 5
・ 保守と点検	・ P 6
・ 検査記録表	・ P 6
・ 保証書	・ P 7

## 安全上のご注意

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

■ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
---	--	---	--

■本文中で使用される“絵表示”の意味は次の通りです。(製品上使用されない絵表示もあります)

 排ガス注意	排気ガス注意 (屋内など閉鎖された換気の悪い場所で使用しないこと)	 取説注意	取説注意 (正しく使用すること)	 高温注意	高温注意 (火傷の恐れあり)	 保護具着用	保護具着用 (保護めがね・耳栓を着用すること)
--	--------------------------------------	---	---------------------	---	-------------------	--	----------------------------

### ● 特長

- ・ 3シリンダでエアーの貯まりが早く、作業の効率アップが図れます。
- ・ 両面ベルトカバー採用で、安全性を大幅アップしました。
- ・ 補助バルブ採用で、スムーズなエンジン始動をアシストします。
- ・ 出力カプラーを圧力調整器(レギュレータ)後に2ヶを設置、効率の良い作業ができます。
- ・ 大口径2車輪の採用で運搬も容易にできます。
- ・ ハンドルが取外しできるため、保管場所で邪魔になりません。

### ● 付属品

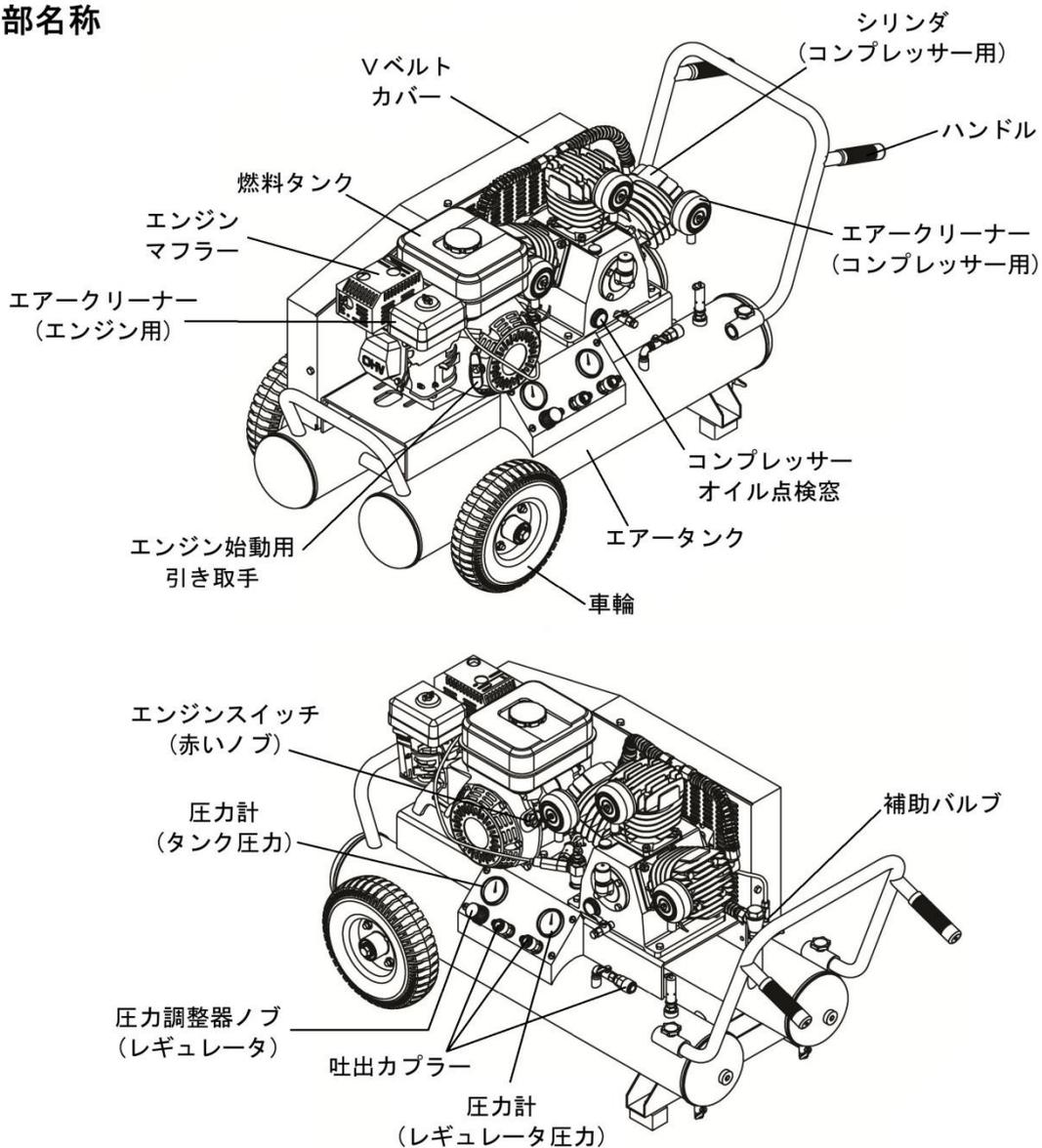
- ・ エアークリーナー
- ・ 取扱説明書
- ・ コンプレッサーオイル×1回分(付属が無い場合は、本体に注入済み)

## ● 仕様

型式	エンジン式コンプレッサー GM-32ESW
エア使用圧力	0.98MPa(10kgf/cm <sup>2</sup> )
エア吐出量	525ℓ/min.
エアタンク容量	32ℓ(16ℓ×2)
原動機	4ストローク エンジン
エンジン起動方式	リコイル起動方式
ガソリタンク容量	3.6ℓ
オイルタンク容量	0.7ℓ
エンジン定格出力	5.5PS/3600rpm
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
使用オイル	4サイクル用エンジンオイル
本体寸法	(幅)1030mm × (奥行)630mm × (高さ)660mm
本体総重量	96kg(乾燥時)

※ 改良のため、製品の外観・仕様が変わる場合があります。

## ● 各部名称



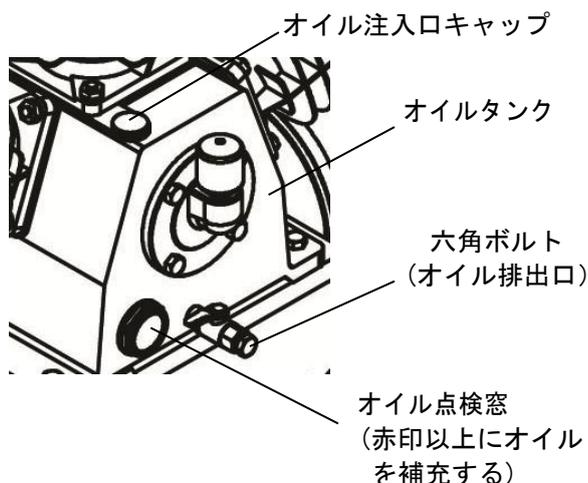
## ● 運転準備

### (1) エアークリーナー取付け

エアークリーナー取り付け部分の保護キャップを取り外し、エアークリーナーを時計方向に回して締め込みます。

### (2) コンプレッサーオイル給油(右図参照)

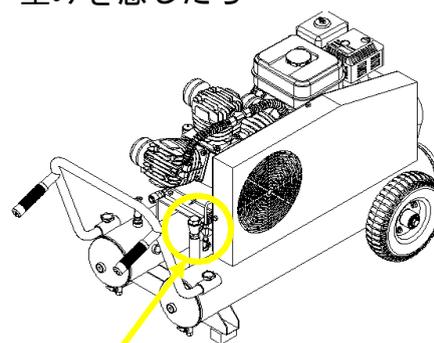
- ① コンプレッサーオイルをオイル注入口から注入して下さい。オイル点検窓から適量を確認願います。オイル不足はコンプレッサー本体に悪影響を及ぼします。またオイル入れ過ぎもオイル噴出など悪影響を及ぼします。
- ② オイル交換をする場合は、タンク下部の六角ボルトを外して排出してください。



## ● 操作方法

### (1) エンジン始動

- ① エンジン始動する前にエンジンオイルとコンプレッサーオイルが適量であることを確認してください。
- ② 燃料タンク内のガソリンが満タンラインを超えていないことを確認してください。(ガソリンは、自動車用無鉛レギュラーガソリンをご使用下さい)
- ③ 燃料レバーを図のように右方向 (ON) の位置にしてください。
- ④ チョークレバーを図のように左方向 (CLOSE) の位置にしてください。
- ⑤ 補助バルブを開いてシリンダー内圧を逃がしてください。
- ⑥ エンジンスイッチをONの位置にしてください。
- ⑦ エンジン始動用引き取手を軽く引っ張りながら、重みを感じたら更に強く引っ張るとエンジンが始動します。
- ⑧ エンジンが始動したらチョークレバーと補助バルブを元の位置に戻してください。  
※チョークレバー：右方向(開)  
※補助バルブ：横方向(閉)

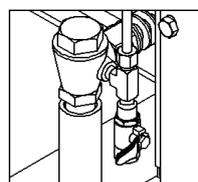


補助バルブ取付け位置

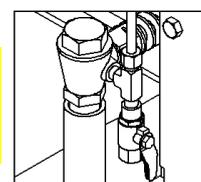
#### ⚠ 注意

- ・ チョークレバーを閉位置のまま使用すると点火プラグやエンジンに悪影響を与えます。
- ・ ガソリンは、自動車用無鉛レギュラーガソリンをご使用下さい。

補助バルブ 閉



補助バルブ 開



## (2) コンプレッサー運転

- ① エンジン始動と同時にコンプレッサーは運転し、エアータンクにエアーを充填します。
- ② エアータンク内圧力が0.98MPa(10kgf/cm<sup>2</sup>)でエンジン回転数は自動で減速し、低速回転で待機運転します。
- ③ エアータンク内圧力が0.78MPa(8kgf/cm<sup>2</sup>)まで下がるとエンジン回転数は自動で加速し、高速回転で充填運転します。

## (3) エンジン停止

- ① エンジンスイッチをOFFの位置にしてください。
- ② 燃料レバーを左方向(OFF)の位置に戻してください。

### ⚠ 注意

- ・ エンジンを停止させるとリリーフバルブから多少エアーが抜けますが、構造上によるもので故障ではありません。

## ● 使用上の注意

- ① 屋内での使用を禁止します。
- ② 本機を運転中に子供をコンプレッサーに近づかせないでください。
- ③ 本機を運転中に斜め、横にしての移動はしないでください。
- ④ 本機運転時には、周囲の建築物や障害物から1m以上離してください。
- ⑤ 製品は大事に扱ってください。誤って落としたり、ぶついたりした場合は、異常の有無を確認してください。
- ⑥ ガソリンやオイル類の注入はエンジンを止めてから行ってください。
- ⑦ オイルの入れ過ぎは、オイル漏れの原因となりますのでご注意ください。
- ⑧ 給油する際は、喫煙や火気厳禁です。
- ⑨ 保管場所は、チリ・ホコリが少なく風通しの良い場所を選んでください。また温度や湿度の高い所や直射日光のあたる所は避けてください。



取説注意



高温注意



保護具着用



排ガス注意

### ⚠ 警告

- ・ 屋内使用禁止ですが、万一 屋内で使用される場合は、換気に充分配慮ください。
- ・ 作業場所には作業関係者以外は近付けないで下さい。特にお子様は危険です。
- ・ 作業には耳栓・ゴーグル(保護メガネ)を着用して下さい。
- ・ ガソリン給油中は、火気厳禁です。くわえタバコで給油しないでください。
- ・ ガソリンやオイル類の注入は、エンジンを止めてから行ってください。

### ⚠ 注意

- ・ 保管場所は、チリ・ホコリが少なく風通しの良い場所で保管願います。

● 保守と点検

- ① 毎回使用する前には、本機を清掃してください。
- ② ドレンコックを毎日開けてタンク内の水を排出してください。
- ③ 本機使用後は必ずタンク内の空気と水を排出してください。
- ④ 使用する前にオイル(エンジンオイル・コンプレッサーオイル)をチェックしてください。
- ⑤ エアークリーナーは3ヶ月毎、又は50時間運転毎に清掃してください。使用する周囲環境(ホコリが多い等)により、清掃回数を増減させてください。
- ⑥ オイル類は、下記を目安に交換してください。
  - ・エンジンオイル：初回は50時間運転を目安に、その後は200時間運転を目安に新しいオイルと交換してください。
  - ・コンプレッサーオイル：初回は50時間運転を目安に、その後は200時間運転を目安に新しいオイルと交換してください。

● 検査記録表

検査項目	検査日付	年	年	年	年	年	年
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
本体損傷の有無							
エンジン点火プラグ							
クリーナー清掃・交換(エンジン用)							
オイル補充・交換(エンジン用)							
クリーナー清掃・交換(コンプレッサ用)							
オイル補充・交換(コンプレッサ用)							
安全弁・リリーフ弁・補助バルブ							
水抜き							
異常音・振動・その他							
検査担当者							

検査項目	検査日付	年	年	年	年	年	年
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
本体損傷の有無							
エンジン点火プラグ							
クリーナー清掃・交換(エンジン用)							
オイル補充・交換(エンジン用)							
クリーナー清掃・交換(コンプレッサ用)							
オイル補充・交換(コンプレッサ用)							
安全弁・リリーフ弁・補助バルブ							
水抜き							
異常音・振動・その他							
検査担当者							